

2023年9月5日

WHILL 株式会社

那須ハイランドパークで歩道を走れるスクーター「WHILL Model S」導入 ～顧客の移動ニーズに合わせ WHILL モビリティサービスに新たなモデル追加。広大な敷地においてシニア世代や家族3世代の来場促進や滞在時間延伸に貢献～

WHILL 株式会社（本社：東京都品川区、代表取締役社長 CEO：杉江理、以下「WHILL 社」）は、藤和那須リゾート株式会社が運営する那須ハイランドパーク（所在：栃木県那須町）に、免許不要で自身で操作する近距離モビリティを活用した法人施設向けサービス「WHILL モビリティサービス」の新たなラインアップとして、歩道を走れるスクーター*「WHILL Model S」を導入することを発表いたします。これまで片手で操作ができ小回り性能が高い「WHILL Model C」シリーズをお客様にご利用いただいておりますが、ハンドルがある Model S を追加することで、お客様の移動ニーズや操作の馴染み度合いに応じたモデルを選んでいただけます。「敬老の日」も控える中、シニア世代、体力や長距離の歩行に不安がある方を含め、あらゆる人が快適かつ気軽に移動できる環境を整備することで、家族3世代など幅広い層の来場促進や滞在時間の延伸を図ります。*時速6km以下で走行する近距離モビリティ



那須ハイランドパークは北関東最大級のテーマパークで多くの方に親しまれています。また、全国に先駆けて Model C2 が配備され、年齢や障害の有無などに関わらずあらゆる人に施設をより満喫いただけるようなモビリティサービスとしてご利用いただいております。

高齢化や多様化が加速する中、来場するお客様に応じた移動ニーズに一層応えるため、この度、那須ハイランドパークで WHILL モビリティサービスのラインアップにスクーター型の Model S が新たに加わります。ハンドルがあるため、普段から自動車などに慣れている方にとってはより気軽に操作していただけるほか、自転車のような感覚で特に施設の屋外を気軽かつ快適に周遊いただきやすくなります。普段は車椅子を

〈本件に関する報道関係者のお問合せ先〉
WHILL 株式会社 担当：新免（シンメン）
TEL：070-4456-9991 / E-mail：jp.pr@whill.inc

利用しないけれど、長距離・長時間の歩行となるとつらい方などが体力などの心配を抱えることなくゆっくりとパーク内を回れ、ご家族やご同行者と一緒にその場を心から楽しめる移動環境を整えます。

WHILL社は引き続き、WHILLモビリティサービスを通じて法人施設様との連携を積極的に進め、一時的にWHILLを気軽に利用できるスポットを増やすことで、すべての人が快適に移動できるインクルーシブな社会の実現を目指してまいります。

■那須ハイランドパーク WHILLモビリティサービス 概要

運用開始日	2023年9月13日(水)
貸出場所	那須ハイランドパーク 入園ゲート
貸出時間	営業時間内 ※季節変動有り
料金	2,000円
採用モデル	Model S 3台 *新たに追加 Model C シリーズ 3台
利用条件	フットサポート(足おき)に足がつく方、115kg以下の方、園内での歩行に不安を感じている方など ※雨天等による貸出し不可日あり
利用方法	ゲートにて、利用したい旨を係員にお伝えください。

那須ハイランドパークについて：<https://www.nasuhai.co.jp>

※サービス内容は、予告なく変更となる場合がございます。

■WHILLモビリティサービスについて

時速6km以下で電動走行する安心設計と高いデザイン性を備えた近距離モビリティと、モビリティ管理システムを組み合わせたものです。これまでの調査結果(注1)から、多世代の来場促進や再来場率の向上、滞在時間の延伸に一定の効果があるとされているほか、WHILLの導入をさまざまな施設に求める声として、家族3世代(親や孫)で遠出や観光に訪れやすい場所が挙がっていることがわかっています(注2)。栃木県では2023年8月より、那須高原りんどう湖ファミリー牧場でも導入されています。

注1:「また来たい」と答えた方が9割を超え、「施設の滞在時間が伸びた」と回答した方は8割弱に上った。「WHILLがあるなら安心して親を連れて来られる」などの声も寄せられている。WHILL社調査 サービス利用者76ss 2022年5月実施

注2: WHILL公式SNS「WHILLが〇〇にあったら嬉しいな」キャンペーン 応募総数280ss 2023年7月実施

<https://note.com/whillcommunity/n/n9e133a9b8371>

■WHILLについて

WHILLは免許不要で歩行領域を走行できる近距離モビリティです。Model C2は高いデザイン性と5cmの段差乗り越え、後輪を軸にその場で一回転できる小回り能力、リアサスペンションを採用した滑らかな乗り心地などが特長です。Model SはWHILL社初となる歩道を走れるスクータータイプで、ハンドルがあることで、安定して長く走ることができ、免許返納後や自転車からの乗り換えなどに適したモデルです。製品について：<https://whill.inc/jp/>



〈本件に関する報道関係者のお問合せ先〉
WHILL株式会社 担当：新免(シンメン)
TEL: 070-4456-9991 / E-mail: jp.pr@whill.inc